

【活動報告書】

リトルベビーサークル「なーれ」 (山口県)

代表 松村 美弥

1. 2022年7月～2023年1月 (主な活動)

- ・2022年 7月 対面交流会 (参加者：4名)
- ・2022年 8月 オンライン交流会 (参加者：4名)
- ・2022年 11月 世界早産児デー写真展 (来場者：40名)
- ・2022年 12月 山口県母子保健研修講義サークル紹介オンデマンド (受講者：196名)
- ・2023年 2月 オンライン交流会 (参加者：5名)
- ・2023年 5月 対面交流会 (参加者：6名)

2. 対面交流会の報告

- ①
- 1) 開催日 2022年7月6日
 - 2) 開催場所 勝山公民館
 - 3) 参加者 4名
 - 4) 内容 近況報告・情報交換・談話
 - 5) 参加者のご意見 当事者同士での交流なので気兼ねなく話すことができました。
療育や放課後デイサービスの情報交換もできモヤモヤしていた
気持ちが少し落ち着きました。
誰にでもできる話や相談ではないので参加してよかったです。
- ②
- 1) 開催日 2023年5月31日
 - 2) 開催場所 勝山公民館
 - 3) 参加者 6名
 - 4) 内容 近況報告・情報交換・談話
山口県版リトルベビーハンドブック「やまぐちにじいろ親子ノート」が完成し報告会
 - 5) 参加者のご意見 自宅で過ごすことが多く子育て支援センターなどに行ってみようかなと思うけど年齢を
聞かれたり他の子と比べてしまったりと自分を責めたり落ち込んでしまうのでなかな
かいくことができなかった。同じ境遇の人達の会なので参加しやすかった。
 - 6) 所感 回数は少なくとも対面で交流会を開催することで子育て支援センターなど子供を連れて
行く場に行きにくいと感じている方が気兼ねなく寄れる居場所になっていると感じた
色々な情報を求めている方々が多く継続し情報収集や保健師や医療機関との関りや意
見交換の必要性を感じた。

3. オンライン交流会の報告

①

- 1) 開催日 2022年8月19日
- 2) 開催方法 ZOOM
- 3) 参加者 4名
- 4) 内容 オンライン助産師の方との交流会 自己紹介 フリートーク
- 5) 参加者のご意見 普段お産に関わっている助産師さんも当事者になって知ることや母としての立場の感情などを実際に感じたから話せることがあるんだと知り心強く感じた。
なかなか当事者の想いや悩みを理解してもらえる機会は少なく相談しても理解してもらえない、話すことに意味があるのかなと感じていたが医療従事者や関係者に当事者がいると話しやすいなと感じた。

②

- 1) 開催日 2023年2月10日
- 2) 開催方法 ZOOM
- 3) 参加者 5名
- 4) 内容 自己紹介 フリートーク 近況報告 情報交換
産休、育休後の仕事復帰について
保育園、幼稚園選びについて
- 5) 参加者のご意見 当事者同士でお話しをする機会がなかったのでお話しできてよかった。
育休を延長するか悩んでいたので実際に保育園に通っている方のお話がきけて参考になった。悩んでいることを気軽に相談できた。
- 6) 所感 毎回開催時は市外の方が参加されています
山口県内とはいえ対面に参加するには少し遠く医療ケアが必要なお子さんや月齢の小さいお子さんを連れての移動はとても大変です。気軽に自宅から参加できるので継続していきたいです。

4. 世界早産児デー写真展

- 1) 開催日 2022年11月17日
- 2) 開催場所 ケンワスタイル 「ちあふる」
- 3) 来場者 40名
- 4) 内容 小さく生まれた赤ちゃんの写真展示
リトルベビーハンドブックについて
実際に使用していたオムツの展示
メリーケアテープの展示
NICU・GCUでの様子を写真を使って展示
実際に産まれた時の大きさを体感していただくため人形を作成し展示
当事者との交流会
ワークショップ（手形、足形アート/シーグラスアート）
テーマカラー紫にライトアップ（カラット横丁大観覧車、中央消防署合同庁舎）
下関市次世代育成支援拠点施設ふくふくこども館にて写真展示のみ

5) 参加者・来場者のご意見

昨年の写真展もみにきました。この1年で皆さんとても成長されていて嬉しい気持ちになりました。小さく生まれても力強く生きている様子を見て自分も命を大切にしようと思った。

世界早産児デーをはじめました。そしてこんなに小さく生まれたお子さんがいることを知りました。お子さんの写真がとても笑顔で素敵でした。

実際の大きさの人形を抱っこしました。こんなに小さかったんだと涙がでそうでした。ご家族の方は不安だったろうしたくさんの涙を流したでしょうね。応援しています。

6) 所感

2回目の世界早産児デー写真展。今回は2会場での写真展示で多くの方に周知して頂けるきっかけになりました。来場して下さった方は多職種の方々や当事者家族と様々でした。サークルの活動を知って頂く事で同じ経験をされた方の居場所への繋がるきっかけになればと思います。ご家族やお子様笑顔で集える場を提供できるよう活動を継続していきたいと思っています。

・ 対面交流会の様子



・ 世界早産児デー写真展の様子



皆様の温かいご支援により2回目の世界早産児デー写真展や、日々の活動を開催することができました。

私たちのリトルベビーサークル「なーれ」はとても小さなサークルですが一人でも多くのリトルベビー家族にとって安心して繋がれる居場所をつかっていけるよう活動を継続してまいります。

今後ともどうぞ宜しくお願い致します。

以上